Japan Geoscience Union Meeting 2013

(May 19-24 2013 at Makuhari, Chiba, Japan)

©2013. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.



MIS32-07

会場:106

時間:5月21日15:45-16:00

噴火とともに消滅した伊東市小川沢の化石湖の謎と「赤牛」伝説: 伊豆半島ジオパークの新たなジオストーリー

Geohistory of Lake Ogawazawa broken by the eruption of Izu Tobu Volcano Group and the mysterious "Red bull" legend

小山 真人 ^{1*}, 鈴木 雄介 ² Masato Koyama^{1*}, Yusuke Suzuki²

ジオサイトを語る個別の「ストーリー」はジオに根ざした学際的・分野横断的なものが望ましいが、確固たる学術的根拠に裏づけられる必要があるし、専門家が不断の発想と調査研究でそれを支えるべきである。伊豆半島ジオパークでの最新の研究成果を紹介する。

伊東温泉街の南西に広がるなだらかな丘陵は、「水道山」と呼ばれて市民に親しまれている。この名前は、おそらく伊東市の上水道を支える多数の水源があることから名づけられた。水道山の地盤をつくる岩石の多くは、第四紀の大型陸上火山である宇佐美火山が噴出した数十万年前の溶岩流であるが、その上を厚さ 20 メートル以上もある伊豆東部火山群起源の分厚いスコリアの地層がおおっている。その火口は少なくとも3つ知られており、総称して馬場平-鉢ヶ窪火山列と呼ばれている。この火山列から噴出したスコリアは、伊東大川の谷を隔てて、小室山や一碧湖の周辺にいたる広い範囲に降りつもっている。他の火山灰との関係から、この火山列が噴火したのはおよそ2万3000年前である(小山、2010、静岡新聞社)。

このスコリア丘の北側に沿う谷(小川沢)の中流の標高 250-280 メートル付近の東西 200 メートル南北 500 メートルほどの範囲に、浸食の進んだ山地に似つかわしくない半盆地状の平坦な地形が広がっている。調査の結果、この平坦面をつくる地層は厚さ 30 メートルほどの柔らかな泥質の堆積物であることがわかった。この堆積物は宇佐美火山の溶岩の上をおおい、盆地の中だけに分布する。つまり、ここにかつて小型の湖があり、上記の平坦面はその湖が干上がった後に残された湖底の地形、その下の堆積物は湖の底にたまった泥などの地層とみられる。この盆地の下流には土石流や地すべりの地層が分布するため、おそらく山崩れによってできたせき止め湖の跡であろう。

さらに、この湖底堆積物の上位を、上記の馬場平-鉢ヶ窪火山列の降下スコリアが直接覆う。スコリア自体には水底に堆積した証拠は見られない。このことは、この湖が噴火の際に決壊し、干上がった湖底面上にスコリアが降り積もったことを意味する。おそらく噴火にともなう大地震や大規模崩壊によって湖水が一気に抜けたとみられる。

ここで連想されるのが、一碧湖の赤牛伝説中にある「赤牛」の元の居場所である。一碧湖に住むという怪物「赤牛」は、小川沢から一碧湖に引っ越してきたという(笹本、2013、伊東市史自然・災害編(印刷中)。かつて小川沢に本当に湖があったとすれば、伝説は真実の一端を語っているのかもしれない。しかしながら、上述のように、この湖は2万3000年前の噴火で消滅した。伝説の元となった事件にしては、あまりに古すぎる。

加藤清志(私信)によれば、旧和田村(現伊東市内)の文書『文禄三(1594)年午ノ八月 彦坂小形部様御検地 伊豆国加茂郡岡村 和田村二而寫取之』の中に、

「岡村山之内上小川と申山之洞地御座候。廣サ東西六拾間、南北弐拾間、深サ弐尋三尋程御座候。是者用水小川沢水上二御座候。道法村ヨリ弐拾四間御座候」

とある。岡村の山中の「上小川」に東西 60 間(110 m)、南北 20 間(36 m)、深さ 2-3 尋(3-4 m)ほどの池があり、これは用水の小川沢の上流で村から 24 間(40 m)の距離にあると解釈できる。「岡村」は現在の伊東市岡区であり、小川沢の下流にあたる。小川沢は地形が急峻なため、山崩れによるせき止め湖の生成・消滅が他の時代にも起きたことは十分考えられる。この池も現在は存在せず、過去の位置を特定することは難しいが、かつて小川沢に出現しては消滅した池のいずれかが伝説中で引き合いに出されたと考えるべきであろう。

キーワード: 伊豆半島ジオパーク, 伊豆東部火山群, 噴火, 地すべり, せき止め湖, 史話

Keywords: Izu Peninsula Geopark, Izu Tobu Volcano Group, eruption, landslide, ponded lake, historical legend

¹ 静岡大学防災総合センター, 2 伊豆半島ジオパーク推進協議会

¹CIREN, Shizuoka University, ²Izu Peninsula Geopark Promotion Council